

事前評価に関する書面

令和 7年 6月 24日

広島県西部厚生環境事務所 収受	
広島県西部保健所	
第	号
- 7. 7. - 2	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

申請者

東京都中央区八重洲二丁目2番1号
三井化学株式会社
代表取締役社長 橋本 修

代理者

山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号
三井化学株式会社岩国大竹工場
執行役員工場長 高妻 泰久
(申請担当部署の長：安全・環境グループリーダー 横山孝雄)
(申請担当者：安全・環境グループ 白木祐介)

1	工場又は事業場の名称及び所在地	広島県大竹市東栄二丁目1番21号	
2	許可申請の概要	別紙1のとおり	
3	工場又は事業場の排水口の位置及び数 (施行規則第4条第1項第1号)	排水口の位置	別図1のとおり
		排水口の数	13か所 (雨水排水口12か所を含む。)
4	排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項 (同第2号)	別紙2のとおり	
5	各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大量 (同第4号)	別紙3のとおり	
6	周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項 (同第3号)	別紙4、別紙5、別図2、別図3のとおり	
	排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法 (同第5号)		
7	その他当該特定施設の設置又は構造等の変更が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項 (同第6号)	別紙6のとおり	

別図2として、周辺公共用水域の範囲、測定点の場所が分かる図面を添付し、周辺公共用水域の決定の根拠も記載すること。



許可申請書の概要

(1) 特定施設設置（変更）の理由及び内容

【設置の理由】

APEL製造施設の重合反応に用いる助触媒に、水濁法施行令第2条に定める有害物質（ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物）を使用することになる。

既設の特定施設AP-D-2306及びD-2308より、有害物質が排出されることから特定施設を有害物質使用特定施設に変更する。

有害物質を含む排水は、大竹放流口に排出される。

大竹放流口において、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物以外の項目における汚染状態と排出水量に変更はない。

【施設の内容】

〔特定施設①〕

特定施設名：AP-D-2306

型 式：縦型円筒型

主要製品名：APEL

能 力：5m³

使用時間：24時間/日

〔特定施設②〕

特定施設名：AP-D-2308

型 式：縦型円筒型

主要製品名：APEL

能 力：3m³

使用時間：3時間/日

(2) 排水処理施設の設置、変更等の内容

活性汚泥処理装置（AO）において、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物の汚染状態が変更となる。

ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物以外の項目における汚染状態と排出水量に変更はない。

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少する場合はその理由

排水口において排出水の汚染状態及び量の減少はない。

別紙2

排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準
その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
全シアン	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
鉛	0.01mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
六価クロム	0.02mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下	チウラム	0.006mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下	シマジン	0.003mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。	チオベンカルブ	0.02mg/L以下
P C B	検出されないこと。	ベンゼン	0.01mg/L以下
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	セレン	0.01mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	ふっ素(海域除く)	0.8mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	ほう素(海域除く)	1mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下		

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川の水域名・海域名		小瀬川 ^{注1)}	大竹・岩国地先海域
類型		B	A、II
基準値	水素イオン濃度 (pH) (水素指数)	6.5～8.5	7.8～8.3
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	3以下	-
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	-	2以下
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	25以下	-
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	5以上	7.5以上
	大腸菌数 (CFU/100mL)	1,000以下	20以下
	n-ヘキサン抽出物質(油分等) (mg/L)	-	検出されないこと。
	全窒素 (T-N) (mg/L)	-	0.3以下
	全リン (T-P) (mg/L)	-	0.03以下
	全亜鉛 (Zn) ^{注2)} (mg/L)	0.03以下	0.01以下
	ノニルフェノール ^{注2)} (mg/L)	0.002以下	0.0007以下
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 ^{注2)} (mg/L)	0.05以下	0.006以下

注1)：小瀬川の類型基準は、小瀬川(3) (中市井堰より下流)を適用。

2)：全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩については、水生生物保全環境基準(小瀬川：生物B、大竹・岩国地先海域：生物特A)を適用。

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

媒体	基準値
水質 (水底の底質を除く)	1 pg-TEQ/L 以下

別紙3

各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値
並びに当該排出水の1日当たりの通常値及び最大値

[変更前]

【変更前】

排水口名		大竹放流口		雨水排水口					
項目		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排出水量(m ³ /日)		31,144	36,631	0	0				
排水の汚染状態	p H(水素指数)	6～8.6	6～8.6						
	B O D (mg/L)	51	60						
	C O D (mg/L)	17	20						
	S S (mg/L)	7	15						
	全窒素(mg/L)	21	45						
	全磷 (mg/L)	2	4						
	ほう素及びその他化合物(mg/L)	ND	ND						
	ふっ素及びその他化合物(mg/L)	ND	ND						
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)		0.5	0.7						
B O D負荷量(kg/日)		1,868.2							
C O D負荷量(kg/日)		622.7							
S S負荷量(kg/日)		256.4							
窒素負荷量(kg/日)		769.3							
磷負荷量(kg/日)		73.3							
n-ヘキサン抽出物質負荷量(kg/日)		18.3							

[変更後]

【変更後】

排水口名		大竹放流口		雨水排水口					
項目		区分		通常	最大	通常	最大	通常	最大
排出水量(m ³ /日)		31, 144	36, 631	0	0				
排水の汚染状態	p H (水素指数)	6～8. 6	6～8. 6						
	B O D (mg/L)	51	60						
	C O D (mg/L)	17	20						
	S S (mg/L)	7	15						
	全窒素 (mg/L)	21	45						
	全燐 (mg/L)	2	4						
	ほう素及びその他化合物 (mg/L)	0. 1	0. 1						
	ふっ素及びその他化合物 (mg/L)	0. 2	0. 2						
n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)		0. 5	0. 7						
B O D 負荷量 (kg/ 日)		1868. 2							
C O D 負荷量 (kg/ 日)		622. 7							
S S 負荷量 (kg/ 日)		256. 4							
窒素負荷量 (kg/ 日)		769. 3							
燐負荷量 (kg/ 日)		73. 3							
ほう素負荷量 (kg/ 日)		3. 7							
ふっ素負荷量 (kg/ 日)		7. 3							
n-ヘキサン抽出物質負荷量 (kg/ 日)		18. 3							

[備考]

負荷量は排水口ごとに通常の汚染状態(mg/L)×最大排水量(m³/日)×10⁻³で計算する。

雨水排水口は計12か所であり、【別図1】記載の「A-11」～「A-13」を参照。

【別図1】記載の「A-10」については、大竹放流口に接続しているため、雨水排水口から外すが、大竹放流口の31,144(m³/日)の排水には含まれていない。

別紙4-1 周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項及び排水水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度(河川)

採水機関名	中外テクノス (株)	分析機関名	中外テクノス (株)
-------	------------	-------	------------

採水地点名		河川No. 1		低水流量(m ³ /日)					558,184			
				希釈率(最大排水量/低水流量)					0.066			
採水年月日 及び時刻	項目	水温 (℃)	流量 (m ³ /日)	pH (水素 指数)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	n-ヘキサン 抽出物質 (mg/L)
水質 の 現 状	第1回 2025年 3月19日 7時40分	10.4	—	8.1	1.7	1.9	2	0.13	0.016	4.8	1.1	<0.5
	第2回 2025年 3月19日 10時20分	10.7	—	8.2	1.6	1.7	1	0.12	0.015	4.8	1.2	<0.5
	第3回 2025年 3月19日 13時20分	11.3	—	8.1	1.7	2.1	1	0.65	0.045	4.4	1.1	<0.5
	平 均	10.8	—	8.1	1.7	1.9	1	0.30	0.025	4.7	1.1	<0.5
	将 来 水 質	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

採水地点名		河川No. 2		低水流量(m ³ /日)					527,040			
				希釈率(最大排水量/低水流量)					0.070			
採水年月日 及び時刻	項目	水温 (℃)	流量 (m ³ /日)	pH (水素 指数)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	n-ヘキサン 抽出物質 (mg/L)
水質 の 現 状	第1回※ 2025年 4月11日 15時40分	17.7	396,818	7.4	1.1	2.2	1	0.44	0.016	0.15	0.15	<0.5
	第2回 2025年 3月19日 11時15分	9.9	223,396	7.3	1.2	2.0	1	0.36	0.012	0.06	0.15	<0.5
	第3回 2025年 3月19日 14時15分	9.5	947,359	7.1	1.4	1.6	<1	0.35	0.013	0.02	0.14	<0.5
	平 均	12.4	522,524	7.3	1.2	1.9	1	0.38	0.014	0.08	0.15	<0.5
	将 来 水 質	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※2025年3月19日に実施した河川No. 2の第1回採水では、異常値が確認されたため、同様の潮汐条件下で再サンプリングを実施した。

備考)

1. 採水地点は、別図2に示すとおりである。
2. 低水流量は、別紙6のとおり算出した。
3. 当該事業における排水口(大竹放流口)は小瀬川の河口部に位置し、その環境は海域とみなせることから、河川については、将来水質の予測は実施しない。

別紙4-2 周辺公共用水域の水質の現況水質その他当該水域の現況に関する事項
(河川、環境基準点等)

(1/1)

(1/1)										
採水機関名		太田川河川事務所			分析機関名		中外テクノス（株）			
採水地点名		大和橋（小瀬川（3））								
2023年 4月から 2024年 3月までの過去1か年間における平均水質										
項目 区分		p H (水素指数)	B O D (mg/L)	C O D (mg/L)	S S (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	n-ヘキサン 抽出物質 (mg/L)
水質の現況		7.5	0.7	2.0	2	0.35	0.013	0.01	0.15	—

備考) 環境基準点は別図3に示すとおりである。

資料: 「公共用水域等の常時監視」(広島県)

別紙4-3 周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度(海域)

(1/2)

採水機関名

中外テクノス（株）

分析機関名

中外テクノス（株）

測定地点名

海域No. 1 (r/3=184m)

希釈率 (C)

0.024

採水年月日及び時間

区分

項目

水温 (℃)

p H

C O D (mg/L)

S S (mg/L)

全窒素 (mg/L)

全磷 (mg/L)

ほう素 (mg/L)

ふっ素 (mg/L)

n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)

第 1 回

2025年3月19日
8時 05分

干満の別：上げ潮時

水

表層

10.5

8.1

1.8

1

0.13

0.018

4.4

1.1

<0.5

中層

10.5

8.1

2.0

1

0.13

0.018

4.5

1.2

—

平均

10.5

8.1

1.9

1

0.13

0.018

4.5

1.2

<0.5

第 2 回

2025年3月19日
10時 40分

干満の別：満潮時

質の現況

表層

10.7

8.1

2.7

1

0.15

0.022

4.5

1.2

<0.5

中層

10.7

8.1

3.0

1

0.15

0.020

4.5

1.2

—

平均

10.7

8.1

2.9

1

0.15

0.021

4.5

1.2

<0.5

第 3 回

2025年3月19日
13時 30分

干満の別：下げ潮時

表層

10.6

8.2

3.7

1

0.21

0.025

4.5

1.2

<0.5

中層

10.6

8.2

2.3

1

0.15

0.015

4.6

1.2

—

平均

10.6

8.2

3.0

1

0.18

0.020

4.6

1.2

<0.5

総平均

10.6

8.1

2.6

1

0.15

0.020

4.5

1.2

<0.5

将来水質

—

—

3.4

2

0.65

0.066

4.4

1.2

<0.5

測定地点名		海域No. 2(2r/3=369m)		希釈率(C)			0.006					
採水年月日及び時間		区分	項目	水温(℃)	p H	C O D (mg/L)	S S (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	n-ヘキサン 抽出物質 (mg/L)
第1回 2025年3月19日 8時 20分 干満の別：上げ潮時		水	表層	10.5	8.1	2.5	1	0.15	0.018	4.5	1.2	<0.5
			中層	10.5	8.2	2.1	<1	0.18	0.019	4.6	1.2	—
			平均	10.5	8.2	2.3	1	0.17	0.019	4.6	1.2	<0.5
第2回 2025年3月19日 10時 55分 干満の別：満潮時		質 の 現 況	表層	10.7	8.2	3.8	1	0.15	0.022	4.5	1.2	<0.5
			中層	10.5	8.2	3.2	1	0.15	0.021	4.6	1.2	—
			平均	10.6	8.2	3.5	1	0.15	0.022	4.6	1.2	<0.5
第3回 2025年3月19日 13時 40分 干満の別：下げ潮時			表層	10.8	8.2	2.8	4	0.16	0.016	4.7	1.2	<0.5
			中層	10.6	8.2	3.1	2	0.15	0.015	4.5	1.2	—
			平均	10.7	8.2	3.0	3	0.16	0.016	4.6	1.2	<0.5
総 平 均				10.6	8.2	2.9	2	0.16	0.019	4.6	1.2	<0.5
将 来 水 質				—	—	3.2	2	0.28	0.030	4.5	1.2	<0.5

備考) 採水地点は別図2に示すとおりである。

採水機関名	中外テクノス (株)		分析機関名	中外テクノス (株)							
測定地点名	海域No. 3 (r =553m)		希釈率 (C)			0.000					
採水年月日及び時間	区分	項目	水温 (°C)	p H	C O D (mg/L)	S S (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)
第 1 回 2025年3月19日 8時 40分 干満の別：上げ潮時	水	表層	10.6	8.2	2.5	2	0.18	0.024	4.5	1.2	<0.5
		中層	10.3	8.2	3.0	4	0.14	0.016	4.5	1.1	—
		平均	10.5	8.2	2.8	3	0.16	0.020	4.5	1.2	<0.5
第 2 回 2025年3月19日 11時 10分 干満の別：満潮時	質 の 現	表層	10.7	8.2	3.6	1	0.14	0.020	4.5	1.2	<0.5
		中層	10.4	8.2	3.6	2	0.14	0.017	4.5	1.1	—
		平均	10.6	8.2	3.6	2	0.14	0.019	4.5	1.2	<0.5
第 3 回 2025年3月12日 13時 50分 干満の別：下げ潮時	況	表層	10.8	8.2	3.0	2	0.16	0.016	4.5	1.1	<0.5
		中層	10.4	8.2	2.9	1	0.12	0.013	4.6	1.2	—
		平均	10.6	8.2	3.0	2	0.14	0.015	4.6	1.2	<0.5
総 平	均		10.5	8.2	3.1	2	0.15	0.018	4.5	1.2	<0.5
将 来 水 質			—	—	3.1	2	0.15	0.018	4.5	1.2	<0.5

別紙4-4 周辺公共用水域の水質の現況水質その他当該水域の現況に関する事項
(海域、環境基準点等)

(1/1)

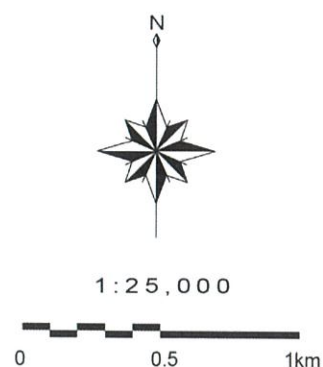
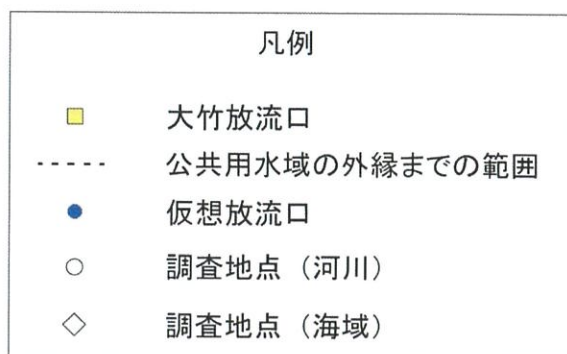
採水機関名		(一財)広島県環境保健協会			分析機関名		(一財)広島県環境保健協会			
採水地点名		広島湾西部29								
2023年 4月から 2024年 3月までの過去1か年間ににおける平均水質										
項目 区分		p H (水素指数)	B O D (mg/L)	C O D (mg/L)	S S (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	n-ヘキサン 抽出物質 (mg/L)
水質の 現況	表層	8.1	－	2.8	－	0.18	0.020	－	－	<0.5
	中層	8.1	－	2.7	－	－	－	－	－	－
	下層	8.0	－	2.0	－	－	－	－	－	－
	平均	8.1	－	2.5	－	0.18	0.020	－	－	<0.5

備考) 採水地点は別図3に示すとおりである。

資料: 「公共用水域等の常時監視」(広島県)

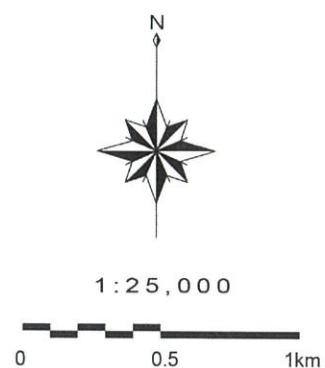
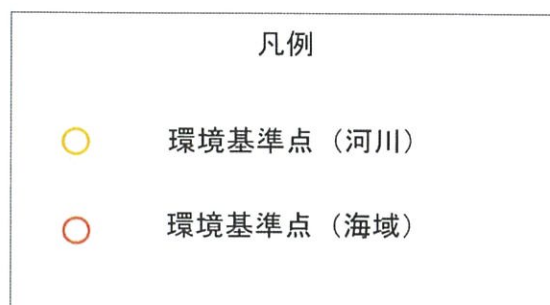


別図2 現地調査地点図





別図3 公共用水域の調査地点



別紙5

排水水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲
並びに将来水質の予測（海域）

1 影響の範囲

新田式($\log(r^2 \theta / 2) = 1.226 \log Q + 0.086$)から求めた周辺公共用水域の外縁までの距離

$$\left[\begin{array}{l} r = \frac{553}{\text{m}} \\ \theta = \frac{3.14}{\text{rad (拡散角度)}} \\ Q = \frac{36631}{\text{m}^3/\text{日 (最大排水量)}} \end{array} \right.$$

2 予測の方法

ヨーゼフ・ゼンドナー式($C = 1 - \exp \{-Q_0 / \theta d p (1/x - 1/l)\}$)から求めた希釈率は次のとおり

$$\begin{array}{l} C = \frac{0.0241207}{\text{}} \quad (r/3 \text{の地点}) \\ C = \frac{0.0060855}{\text{}} \quad (2r/3 \text{の地点}) \end{array}$$

$$\left[\begin{array}{l} Q_0 = \frac{36631}{\text{m}^3/\text{日}} \quad (\text{周辺公共用水域の範囲の決定に用いた排水量}) \\ \theta = \frac{3.14}{\text{rad}} \quad (\text{拡散角度}) \\ d = \frac{2}{\text{m}} \quad (\text{排水水の混合層厚。原則として2m}) \\ p = \frac{864}{\text{m/日}} \quad (\text{拡散速度。原則として864m/日}) \\ x = \frac{184}{\text{m}} \quad (\text{排水口から測定点までの距離}(r/3)) \\ \quad \frac{369}{\text{m}} \quad (\text{排水口から測定点までの距離}(2r/3)) \\ r = \frac{553}{\text{m}} \quad (\text{排水口から周辺公共用水域外縁までの距離}) \end{array} \right.$$

$S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$ から将来水質を予測する。

$$\left[\begin{array}{l} S' : \text{測定点付近の将来水質 (mg/L)} \\ S_1 : \text{周辺公共用水域の外縁直近の外側の測定点の現況水質 (mg/L)} \\ S_0 : \text{周辺公共用水域の範囲の決定に用いた排水水の水質の平均値 (mg/L)} \end{array} \right.$$

ただし、一体とみなされる場合は、各排水口における平均値の加重平均値とする。

S0:当該事業場からの排水水の平均水質、S1:公共用水域外縁の現況水質

測定地点	排水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	n-ヘキサン 抽出物質 (mg/L)
S0 (排水水水質)	36631.0	17.0	7	21.00	2.000	0.1	0.2	<0.7
S1 (海域No. 3水質)	—	3.1	2	0.15	0.018	4.5	1.2	<0.5

3 予測

(1)r/3地点(海域No.1)の予測値

$S'(\text{COD}) =$	$3.1 + (17 - 3.1) \times 0.024121 =$	3.4 (mg/L)
$S'(\text{SS}) =$	$2 + (7 - 2) \times 0.024121 =$	2 (mg/L)
$S'(\text{T-N}) =$	$0.15 + (21 - 0.15) \times 0.024121 =$	0.65 (mg/L)
$S'(\text{T-P}) =$	$0.018 + (2 - 0.018) \times 0.024121 =$	0.07 (mg/L)
$S'(\text{B}) =$	$4.5 + (0.071 - 4.5) \times 0.024121 =$	4.39 (mg/L)
$S'(\text{F}) =$	$1.2 + (0.2 - 1.2) \times 0.024121 =$	1.18 (mg/L)
$S'(\text{n-hex}) =$	$0.5 + (0.7 - 0.5) \times 0.024121 =$	0.51 (mg/L)

(2)2r/3地点(海域No.2)の予測値

$S'(\text{COD}) =$	$3.1 + (17 - 3.1) \times 0.006085 =$	3.2 (mg/L)
$S'(\text{SS}) =$	$2 + (7 - 2) \times 0.006085 =$	2 (mg/L)
$S'(\text{T-N}) =$	$0.15 + (21 - 0.15) \times 0.006085 =$	0.28 (mg/L)
$S'(\text{T-P}) =$	$0.018 + (2 - 0.018) \times 0.006085 =$	0.030 (mg/L)
$S'(\text{B}) =$	$4.5 + (0.071 - 4.5) \times 0.006085 =$	4.473 (mg/L)
$S'(\text{F}) =$	$1.2 + (0.2 - 1.2) \times 0.006085 =$	1.194 (mg/L)
$S'(\text{n-hex}) =$	$0.5 + (0.7 - 0.5) \times 0.006085 =$	0.501 (mg/L)

(3)r地点(海域No.3)の予測値

$S'(\text{COD}) =$	$3.1 + (17 - 3.1) \times 0 =$	3.1 (mg/L)
$S'(\text{SS}) =$	$2 + (7 - 2) \times 0 =$	2 (mg/L)
$S'(\text{T-N}) =$	$0.15 + (21 - 0.15) \times 0 =$	0.15 (mg/L)
$S'(\text{T-P}) =$	$0.018 + (2 - 0.018) \times 0 =$	0.018 (mg/L)
$S'(\text{B}) =$	$4.5 + (0.071 - 4.5) \times 0 =$	4.500 (mg/L)
$S'(\text{F}) =$	$1.2 + (0.2 - 1.2) \times 0 =$	1.200 (mg/L)
$S'(\text{n-hex}) =$	$0.5 + (0.7 - 0.5) \times 0 =$	0.500 (mg/L)

別紙6

その他当該特定施設の設置または構造等の変更が環境に及ぼす影響についての
事前評価に関し参考となるべき事項

(1) 水質調査概要

a. 採水方法・流量観測方法

採水は、流水から直接、または採水器を用いて行った。

流量観測は、「河川砂防技術基準 調査編」（平成26年 国土交通省）に記載される方法に準じて行った。

b. 分析方法

分析方法は、「水質汚濁に係る環境基準について」（昭和46年環告59号）に規定される方法に準じて行った。個々の項目については、以下に示すとおりである。

項目	分析方法
水素イオン濃度(pH)	JIS K 0102(2019)-12.1
生物化学的酸素要求量(BOD)	JIS K 0102(2019)-21
化学的酸素要求量(COD)	JIS K 0102(2019)-17
浮遊物質質量(SS)	昭和46年 環告第59号 付表9
全窒素(T-N)	JIS K 0102(2019)-45.6
全磷(T-P)	JIS K 0102(2019)-46.3.4
ふっ素	JIS K 0102(2019)-34.4
ほう素	JIS K 0102(2019)-47.3
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	昭和46年 環告第59号 付表14

(2) 低水流量の計算について

小瀬川における低水管理地点である防鹿地点では平均低水流量は $6.1\text{m}^3/\text{s}$ ($=527,040\text{m}^3/\text{日}$)であり、下流に向けて関ヶ浜川と瀬田川の合流がみられる。

調査地点である河川No. 2については、防鹿地区における低水流量を参考とし、No. 1においては防鹿地区の低水流量の値に、大竹放流口の通常時の排水量を上乗せしたものとした。

資料：「小瀬川水系河川整備基本計画」（平成20年 国土交通省河川局）

採水地点名	低水流量($\text{m}^3/\text{日}$)
河川No. 1	558,184
河川No. 2	527,040
防鹿地点(小瀬川) (流況観測点)	527,040
大竹放流口 排水量(通常時)	31,144

(3) 漁業権等水域利用について

当該施設の排水口の下流に、上水道の取水口や農業用の堰等の水利用はない。

排水先の大竹・岩国地先海域は、くば漁業協同組合の共同漁業権及び区画漁業権が設定されている。また、広島県と山口県との県境地先では、阿多田島漁業協同組合が共同漁業を行っている。

(4) 周辺環境への影響について

排出水量は最大で36,631m³/日であり、小瀬川では十分に希釈されないものの、下流で水道水、内水面漁業、農業用水等の水利用はなく、排水による影響はない。

小瀬川から海域に流出した後は、河口から約553mの扇形の範囲内で現況の濃度まで希釈される。

海域においてCOD、SS、ほう素、ふっ素は、現況とほとんど変わらない。また、全窒素及び全燐は環境基準を下回る。n-ヘキサン抽出物質は検出されなかった。

以上より、排水による周辺環境への影響は軽微であると評価される。

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285038	i) 海域No.1 表層(1回目)
2285039	ii) 海域No.1 中層(1回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	—	8.1(25℃)	8.1(25℃)	—	JIS K0102(2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	1.8	2.0	0.5	JIS K0102(2019)-17
浮遊物質	mg/L	1	1	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.13	0.13	0.01	JIS K0102(2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.018	0.018	0.003	JIS K0102(2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.4	4.5	0.01	JIS K0102(2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.1	1.2	0.08	JIS K0102(2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	—	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285040	i) 海域No.1 表層(2回目)
2285041	ii) 海域No.1 中層(2回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	—	8.1(25℃)	8.1(25℃)	—	JIS K0102(2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	2.7	3.0	0.5	JIS K0102(2019)-17
浮遊物質量	mg/L	1	1	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.15	0.15	0.01	JIS K0102(2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.022	0.020	0.003	JIS K0102(2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.5	4.5	0.01	JIS K0102(2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.2	1.2	0.08	JIS K0102(2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	—	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285042	i) 海域No.1 表層(3回目)
2285043	ii) 海域No.1 中層(3回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	—	8.2 (25℃)	8.2 (25℃)	—	JIS K0102 (2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	3.7	2.3	0.5	JIS K0102 (2019)-17
浮遊物質	mg/L	1	1	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.21	0.15	0.01	JIS K0102 (2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.025	0.015	0.003	JIS K0102 (2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.5	4.6	0.01	JIS K0102 (2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.2	1.2	0.08	JIS K0102 (2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	—	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285044	i) 海域No.2 表層(1回目)
2285045	ii) 海域No.2 中層(1回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	—	8.1(25℃)	8.2(25℃)	—	JIS K0102(2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	2.5	2.1	0.5	JIS K0102(2019)-17
浮遊物質量	mg/L	1	1未満	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.15	0.18	0.01	JIS K0102(2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.018	0.019	0.003	JIS K0102(2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.5	4.6	0.01	JIS K0102(2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.2	1.2	0.08	JIS K0102(2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	—	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285046	i) 海域No.2 表層(2回目)
2285047	ii) 海域No.2 中層(2回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	—	8.2(25℃)	8.2(25℃)	—	JIS K0102(2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	3.8	3.2	0.5	JIS K0102(2019)-17
浮遊物質	mg/L	1	1	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.15	0.15	0.01	JIS K0102(2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.022	0.021	0.003	JIS K0102(2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.5	4.6	0.01	JIS K0102(2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.2	1.2	0.08	JIS K0102(2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	—	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042

発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

件名：

瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

計量証明登録番号：広島県 K-50号

計量管理者：泉原 義央

分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285048	i) 海域No.2 表層(3回目)
2285049	ii) 海域No.2 中層(3回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	—	8.2(25℃)	8.2(25℃)	—	JIS K0102(2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	2.8	3.1	0.5	JIS K0102(2019)-17
浮遊物質量	mg/L	4	2	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.16	0.15	0.01	JIS K0102(2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.016	0.015	0.003	JIS K0102(2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.7	4.5	0.01	JIS K0102(2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.2	1.2	0.08	JIS K0102(2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	—	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285050	i) 海域No.3 表層(1回目)
2285051	ii) 海域No.3 中層(1回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	—	8.2 (25℃)	8.2 (25℃)	—	JIS K0102 (2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	2.5	3.0	0.5	JIS K0102 (2019)-17
浮遊物質	mg/L	2	4	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.18	0.14	0.01	JIS K0102 (2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.024	0.016	0.003	JIS K0102 (2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.5	4.5	0.01	JIS K0102 (2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.2	1.1	0.08	JIS K0102 (2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	—	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285052	i) 海域No.3 表層(2回目)
2285053	ii) 海域No.3 中層(2回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	—	8.2(25℃)	8.2(25℃)	—	JIS K0102(2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	3.6	3.6	0.5	JIS K0102(2019)-17
浮遊物質	mg/L	1	2	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.14	0.14	0.01	JIS K0102(2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.020	0.017	0.003	JIS K0102(2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.5	4.5	0.01	JIS K0102(2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.2	1.1	0.08	JIS K0102(2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	—	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川河口	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285054	i) 海域No.3 表層(3回目)
2285055	ii) 海域No.3 中層(3回目)

分析の対象	単位	分析の結果		定量下限	分析の方法
		i	ii		
水素イオン濃度	-	8.2(25℃)	8.2(25℃)	-	JIS K0102(2019)-12.1
化学的酸素要求量	mg/L	3.0	2.9	0.5	JIS K0102(2019)-17
浮遊物質量	mg/L	2	1	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.16	0.12	0.01	JIS K0102(2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.016	0.013	0.003	JIS K0102(2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.5	4.6	0.01	JIS K0102(2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.1	1.2	0.08	JIS K0102(2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	-	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285056	i) 河川No. 1 (1回目)
2285057	ii) 河川No. 1 (2回目)
2285058	iii) 河川No. 1 (3回目)

分析の対象	単位	分析の結果			定量下限	分析の方法
		i	ii	iii		
水素イオン濃度	-	8.1 (25℃)	8.2 (25℃)	8.1 (25℃)	-	JIS K0102 (2019)-12.1
生物化学的酸素要求量	mg/L	1.7	1.6	1.7	0.5	JIS K0102 (2019)-21及び32.3
化学的酸素要求量	mg/L	1.9	1.7	2.1	0.5	JIS K0102 (2019)-17
浮遊物質量	mg/L	2	1	1	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0.13	0.12	0.65	0.01	JIS K0102 (2019)-45.6
りん含有量	mg/L	0.016	0.015	0.045	0.003	JIS K0102 (2019)-46.3.4
ほう素	mg/L	4.8	4.8	4.4	0.01	JIS K0102 (2019)-47.3
ふっ素	mg/L	1.1	1.2	1.1	0.08	JIS K0102 (2019)-34.4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依頼番号：1071042
発行年月日：2025年4月8日

三井化学株式会社 御中

件名：
瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

事業者：中外テクノス株式会社
住所：広島県広島市西区横川新町9-12
事業所：環境事業本部本部環境技術センター
所在地：広島県広島市西区横川新町9-12
TEL：082-295-2237

計量証明登録番号：広島県 K-50号
計量管理者：泉原 義央
分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年3月19日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2285059	i) 河川No. 2 (1回目)
2285060	ii) 河川No. 2 (2回目)
2285061	iii) 河川No. 2 (3回目)

分析の対象	単位	分析の結果			定量下限	分析の方法
		i	ii	iii		
水素イオン濃度	-	7.2 (25℃)	7.3 (25℃)	7.1 (25℃)	-	JIS K0102 (2019) -12. 1
生物化学的酸素要求量	mg/L	9. 9	1. 2	1. 4	0. 5	JIS K0102 (2019) -21及び32. 3
化学的酸素要求量	mg/L	23	2. 0	1. 6	0. 5	JIS K0102 (2019) -17
浮遊物質	mg/L	3	1	1未満	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0. 33	0. 36	0. 35	0. 01	JIS K0102 (2019) -45. 6
りん含有量	mg/L	0. 021	0. 012	0. 013	0. 003	JIS K0102 (2019) -46. 3. 4
ほう素	mg/L	0. 08	0. 06	0. 02	0. 01	JIS K0102 (2019) -47. 3
ふっ素	mg/L	0. 17	0. 15	0. 14	0. 08	JIS K0102 (2019) -34. 4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0. 5未満	0. 5未満	0. 5未満	0. 5	S46環告第59号付表14

分析結果報告書

依 賴 番 号 : 1073250

発行年月日：2025年4月22日

三井化学株式会社 御中

件名：

瀬戸法に係る事前評価書作成、排水分析作業他

事 業 者 : 中 外 テ ク ノ ー ス 株 式 会 社
 住 所 : 広 島 県 広 島 市 西 区 横 川 新 町 9-12
 事 業 所 : 環 境 事 業 本 部 本 部 環 境 技 術 セ ン タ ー
 所 在 地 : 広 島 県 広 島 市 西 区 横 川 新 町 9-12
 丁 丁 : 082-295-2237

計量証明登録番号：広島県 K-50号

計量管理者：泉原 義央

分析責任者：工藤 彰人

ご依頼による分析結果を、以下のとおり報告致します。

採取年月日：2025年4月11日	採取区分：当事業所採取
採取場所：小瀬川	
特記事項	
S46環告第59号(水質汚濁に係る環境基準)	

試料番号	試料名
2292788	河川No. 2 再調査

分析の対象	単位	分析の結果	定量下限	分析の方法
水素イオン濃度	—	7.4 (22℃)	—	JIS K0102 (2019) -12. 1
生物化学的酸素要求量	mg/L	1. 1	0. 5	JIS K0102 (2019) -21及び32. 3
化学的酸素要求量	mg/L	2. 2	0. 5	JIS K0102 (2019) -17
浮遊物質	mg/L	1	1	S46環告第59号付表9
窒素含有量	mg/L	0. 44	0. 01	JIS K0102 (2019) -45. 6
りん含有量	mg/L	0. 016	0. 003	JIS K0102 (2019) -46. 3. 4
ほう素	mg/L	0. 15	0. 01	JIS K0102 (2019) -47. 3
ふっ素	mg/L	0. 15	0. 08	JIS K0102 (2019) -34. 4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0. 5未満	0. 5	S46環告第59号付表14

委 任 状

私は、岩国大竹工場長 高妻 泰久 を代理人と定めて広島県知事殿に
対して行う次の事項の一切の権限を委任する。

三井化学岩国大竹工場の環境基本法関係法令等に基づく届出等の手続きに
関する次の事項

1. 大気汚染防止法
2. 水質汚濁防止法
3. 瀬戸内海環境保全特別措置法
4. 騒音規制法
5. 振動規制法
6. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
7. 浄化槽法
8. 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
9. ダイオキシン類対策特別措置法
10. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する
法律
11. ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
12. 公害紛争処理法
13. フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
14. 使用済自動車の再資源化等に関する法律
15. 土壌汚染対策法
16. 広島県生活環境の保全等に関する条例
17. 公害防止に関する協定書及び覚書に基づく諸手続
18. その他上記に関する一切の件

以 上

令和7年6月24日

東京都中央区八重洲二丁目2番1号
三井化学株式会社
代表取締役社長 橋本 修